

まちづくり協議会

みやじ

令和3年2月号 発行者 山口 義鐘

☎31-5557

▼県道氷川八代線整備事業

地元説明会開催



県道氷川八代線整備事業について
令和元年12月16日の地元説明会での住民の意見を受け、妙見宮への参道という特性を活かしつつ、歩行者、自転車等に配慮した安全・安心な道路とするため、検討をしてきました。このほど早期の事業着手を目指して住民説明会が開催されました。

熊本県の計画案通り、現道及び水路等の公有地内での計画、水路部を歩行スペースとすることで歩行者等の快適性を優先する計画に賛同して頂きました。
今後共、住民の意見を十分反映して行きます。

▼宮地小学校で

「宮地和紙」の卒業証書作り



恒例の宮地和紙「卒業証書」作りがこのほど、宮地小学校で行なわれました。

和紙職人の矢壁正幸さん(妙見町)の指導もと、原料のコウゾ等を溶かし、水を木製の道具ですくい、上下左右に揺らして一人3枚づつ丁寧に仕上げました。



児童らは、3月末の卒業式が楽しみだと話していました。

▼妙見さんお土産販売所開設

令和3年1月1日から3日間妙見さんで販売所を開設致しました。



ユネスコ登録から4年が経過していますが、毎月1日、15日開設しています。

今年の正月は、昨今のコロナ禍の中、参拝客も半減してしまいましたが、妙見さん独自のお土産品の「八代青のりめんべい」や、まち協作成の「い草絵馬」「マスク」「買い物袋」等身近な物を購入して頂きました。
今後2月、3月、と開設致しますのでよろしくお願ひ致します。

▼新年の祈り五穀豊穡 「御田植祭」

妙見宮で1月3日、江戸時代から続く伝統行事「御田植祭」が行われました。



夜明け前の午前7時に小林雄彦宮司の挨拶の後、拝殿で神事があり、供えられたサカキを田畑に立てると作物がよく育つとされ、サカキを囲んで待ち構えた農家は神事の終盤、勢い良く取り合っていました。

▼「宝くじ助成事業」で

コミュニティ活動備品が整備されました



地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的としたコミュニティ助成事業により、盆踊り用の「やぐら」、音響設備、テントが配備されました。この事業は(一財)自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施しているものです。

今後もコミュニティ活動の活性化を図っていきます。

▼香典返し寄付の御礼

宮地町の山村光喜様より(亡母)山村ヤチ子様の香典返しとして、まちづくり協議会みやじに寄付を頂きました。ここに厚く御礼申し上げますと共に、故人のご冥福をお祈り致します。



▼あとがき

如月(きさらぎ)2月を迎えました。1年で最も寒い季節です。コロナもなかなか終息致しませんが、元気でこの時期を乗り切りましょう。



(か)